



2016年3月期決算説明会

パイオニア株式会社
代表取締役 兼 社長執行役員
小谷 進

2016年5月12日

本日発表のポイント

1. 2016年3月期 連結決算:

- 売上は、事業譲渡の影響や市販カーオーディオの減少などにより、前期を下回った
- 営業利益は、販売費及び一般管理費の減少はあったが、為替影響や売上総利益の減少などにより、前期を下回った
- 当期純利益は、前期にDJ機器事業の譲渡等による特別利益を計上したことなどから、減益となった

2. 2017年3月期 連結業績予想:

- 売上は、カーOEMなどが減少することから、減収の4,200億円となるが、カー市販などが増益となることから、営業利益、当期純利益は増益の各々80億円、10億円を見込む

本日の説明

1. 2016年3月期 連結決算
2. 2017年3月期 連結業績予想

当プレゼンテーション中、当社の現在の計画、概算、戦略、判断などの記述、また、その他すでに確定した事実以外の記述は、当社の将来の業績の見通しに関するものです。これらの記述は、現在入手可能な情報による当社経営陣の仮定および判断に基づいています。実際の業績は、様々な重要なリスク要因や不確定要素によって、見通しの中で説明されている業績から大きく異なる可能性もありますので、これらの記述に過度に依存されないようお願いします。また、当社は新たな情報、将来の事象、その他の結果によってこれらの記述を常に見直すとは限らず、当社はこのような義務を負うものではありません。当社に影響を与え得るリスクや不確定要素には、(1)当社が関わる市場の一般的な経済情勢、特に消費動向や当社が製品等を供給する業界の動向、(2)為替レート、特に当社が大きな売上や資産、負債を計上する米ドル、ユーロ、その他の通貨と円との為替レート、(3)競争の激しい市場において、顧客から受け入れられる製品を継続して設計、開発する能力、(4)事業戦略を成功させる能力、(5)他社との合併、提携またはその他事業関係の成功、(6)資金調達能力、(7)研究開発や設備投資に十分な経営資源を継続して投下する能力、(8)製品に関する品質管理能力、(9)生産に必要な重要部品を継続して調達し得る状況、(10)偶発事象の結果などが含まれますが、これらに限られるものではありません。

1. 2016年3月期 連結決算

2016年3月期：連結業績概要

(単位:億円)

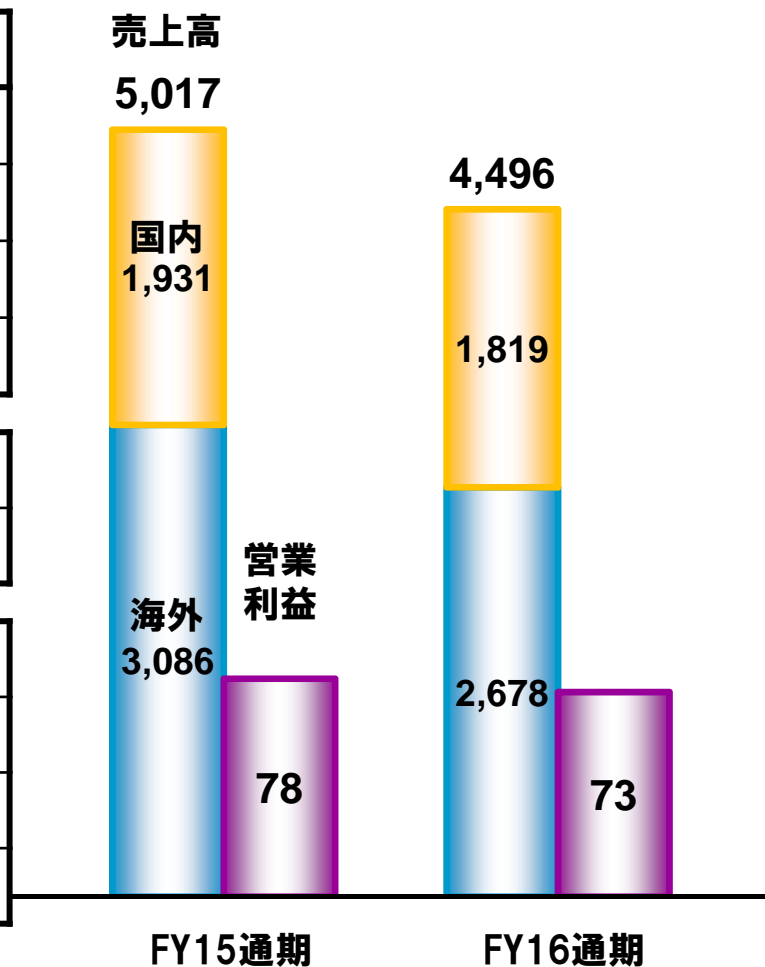
	FY16実績	FY15実績	前期比
売上高	4,496	5,017	89.6%
営業利益	73	78	93.9%
経常損益	73	-29	-
当期純利益*	7	146	5.0%

為替 平均レート	1USDドル	120.14円	109.93円	+8.5%
	1ユーロ	132.58円	138.77円	-4.7%

1株当たり純利益*	1.99円	39.85円	-37.86円
ROE	0.8%	16.8%	-16.0%
1株当たり純資産	233.32円	277.05円	-43.73円
ROA	0.2%	4.5%	-4.3%

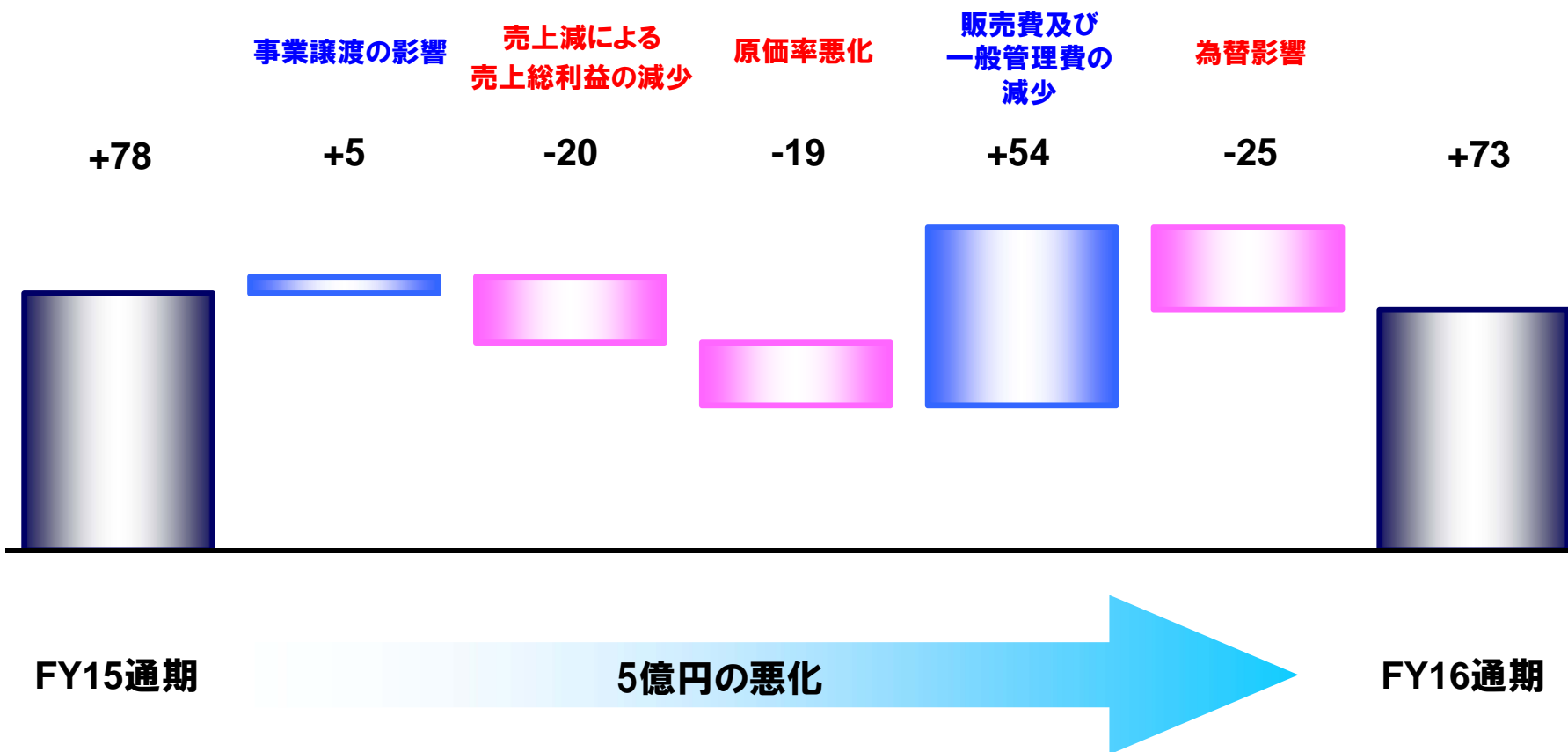
* 親会社株主に帰属する当期純利益

(単位:億円)

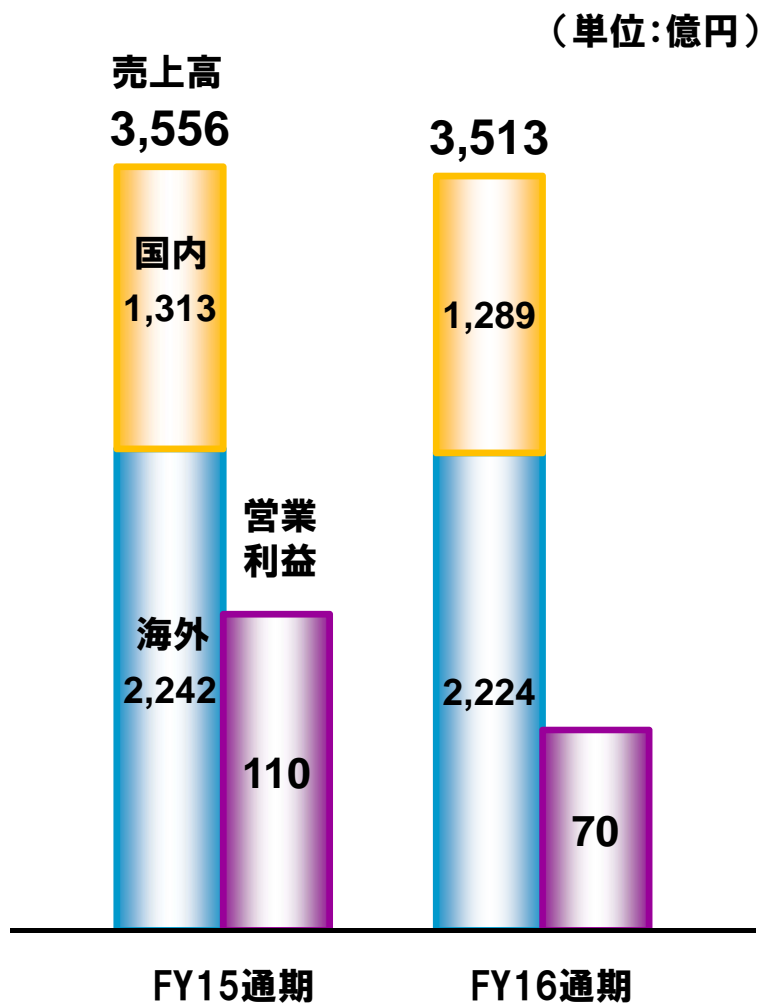


2016年3月期：営業利益増減要因

(単位:億円)



2016年3月期：カーエレクトロニクス



< 売上高 > OEM比率 61% (前期 57%)

前期比	99% (国内 98%、海外 99%)
増収要因	OEMカーオーディオ OEMカーナビゲーションシステム 市販カーナビゲーションシステム
減収要因	市販カーオーディオ

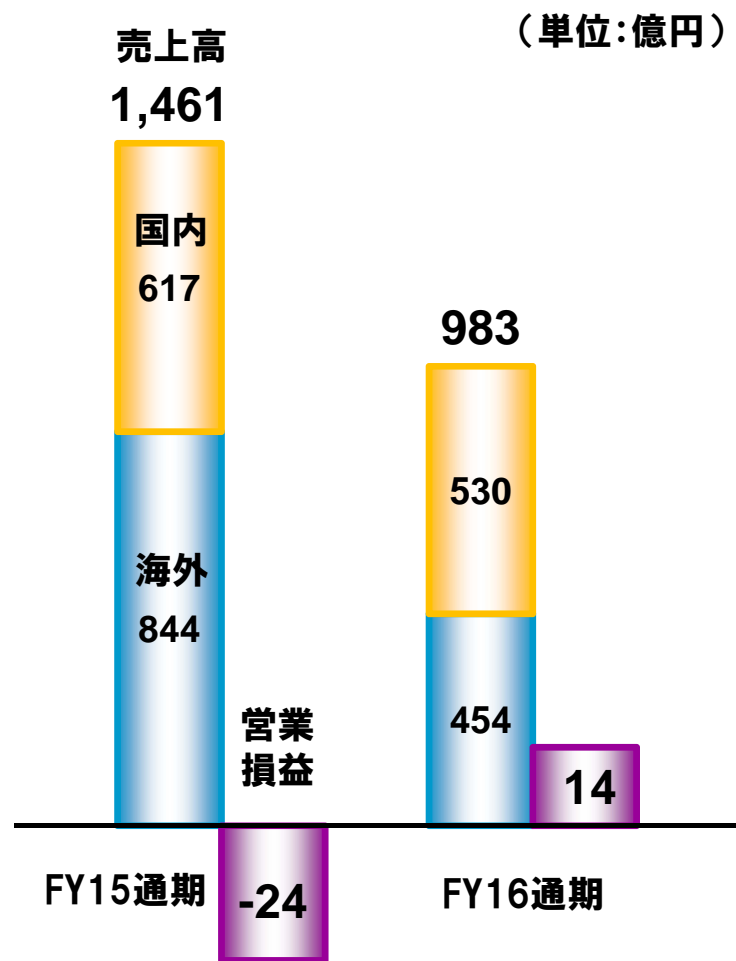
< 営業利益 >

前期比	40億円の悪化
良化要因	販売費及び一般管理費の減少(+55億円)
悪化要因	原価率悪化(-55億円) 為替影響(-23億円) 売上減に伴う売上総利益減少(-17億円)

※ 当セグメントに含まれる主要製品:
カーナビゲーションシステム、カーステレオ、カーAVシステム、
カースピーカー

注)セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表しています。

2016年3月期：その他



< 売上高 >

前期比	67% (国内 86%、海外 54%)
増収要因	FA機器、地図ソフト
減収要因	事業譲渡の影響、光ディスクドライブ

< 営業損益 >

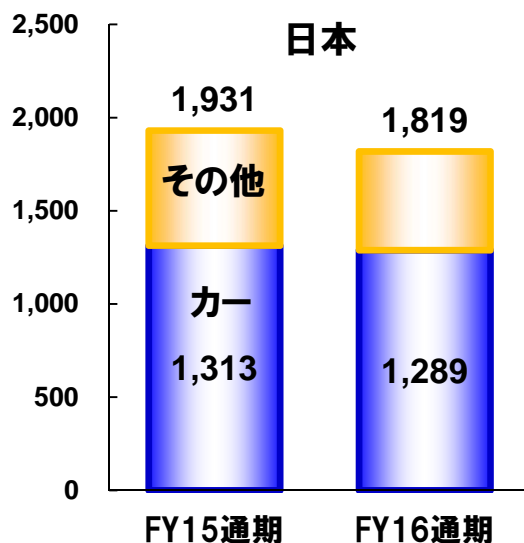
前期比	38億円の良化
良化要因	原価率良化(+21億円) 販売費及び一般管理費の減少(+20億円) 事業譲渡の影響(+5億円)
悪化要因	譲渡した事業以外の売上減による売上 総利益の減少(-6億円) 為替影響(-2億円)

※ 当セグメントに含まれる主要製品：
ブルーレイディスクドライブ、DVDドライブ、CATV関連機器、
FA機器、地図ソフト、電子部品、スピーカーユニット、
有機ELディスプレイ、EMS(電子機器受託製造サービス)、
DJ機器(生産・販売受託)、ホームAV(生産・販売受託)

注) 1.セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。
2.FY15の実績には、2015年3月に譲渡した事業の売上、営業損益が含まれています。

2016年3月期：地域別売上高

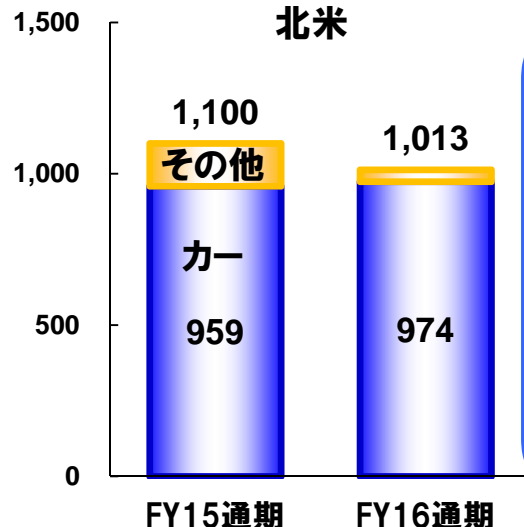
(単位:億円)



前期比
94%

増収要因
OEMカーオーディオ
FA機器
DJ機器(生産受託)

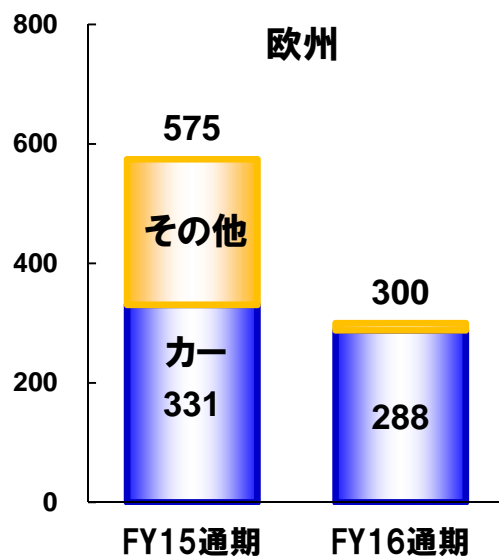
減収要因
事業譲渡
光ディスクドライブ
OEMカーナビゲーションシステム



前期比
円ベース: 92%
現地通貨ベース: 84%

増収要因
OEMカーオーディオ
市販カーオーディオ

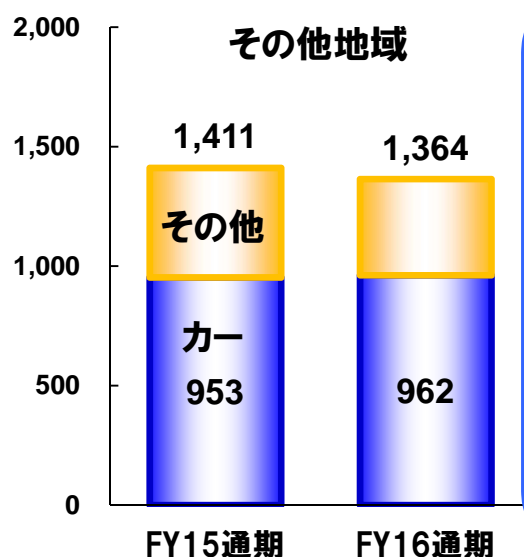
減収要因
事業譲渡
OEMカーナビゲーションシステム



前期比
円ベース: 52%
現地通貨ベース: 56%

増収要因
地図ソフト

減収要因
事業譲渡
市販カーオーディオ
OEMカーオーディオ



前期比
円ベース: 97%
現地通貨ベース: 98%

増収要因
OEMカーナビゲーションシステム
OEMカーオーディオ
市販カーナビゲーションシステム
FA機器

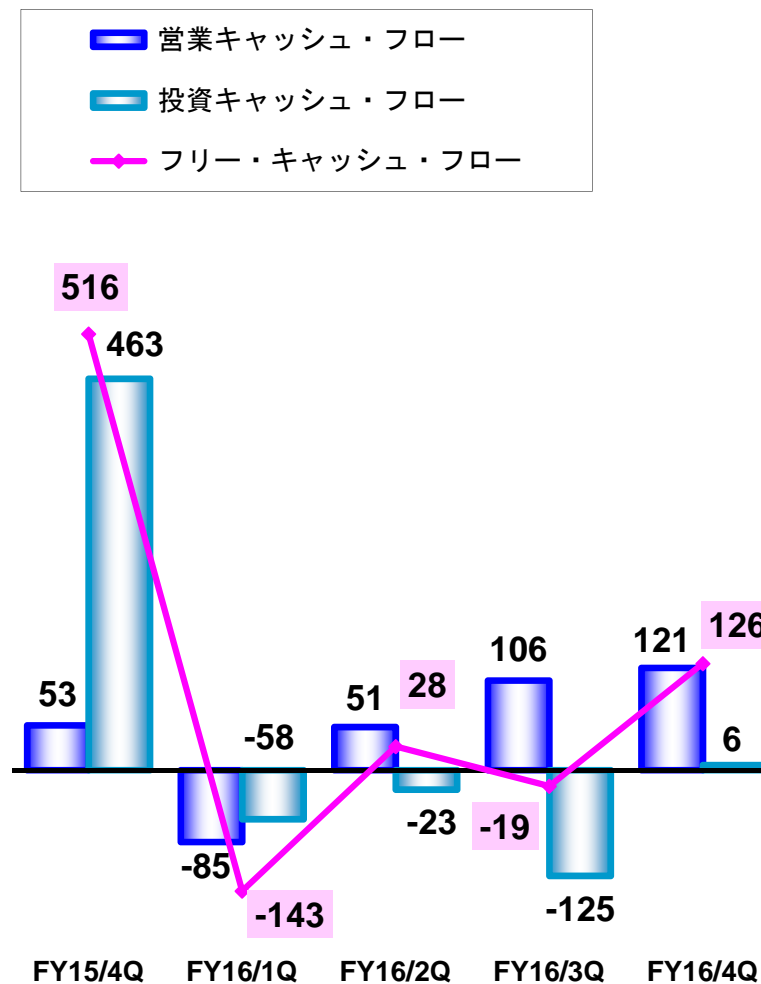
減収要因
市販カーオーディオ
事業譲渡

2016年3月期：連結キャッシュ・フロー計算書

	FY16通期	FY15通期
税金等調整前当期純利益	49	252
減価償却費	271	235
事業譲渡損益	-1	-449
固定資産除売却損益	6	-3
投資有価証券売却損益	-7	-16
売上債権の増減	9	108
棚卸資産の増減	60	39
仕入債務の増減	-5	-38
未払費用の増減	-96	162
その他	-93	55
営業キャッシュ・フロー	193	346
投資キャッシュ・フロー	-201	369
財務キャッシュ・フロー	34	-554
現金・現金同等物の換算差額	-23	18
フリー・キャッシュ・フロー	-8	714

現金・現金同等物の増減	3	178
現金・現金同等物の残高	520	517
NETキャッシュ残高	147	174

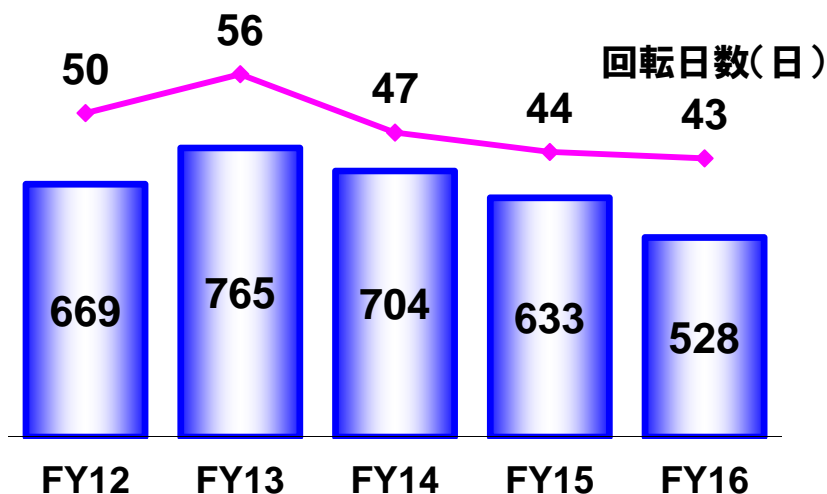
(単位：億円)



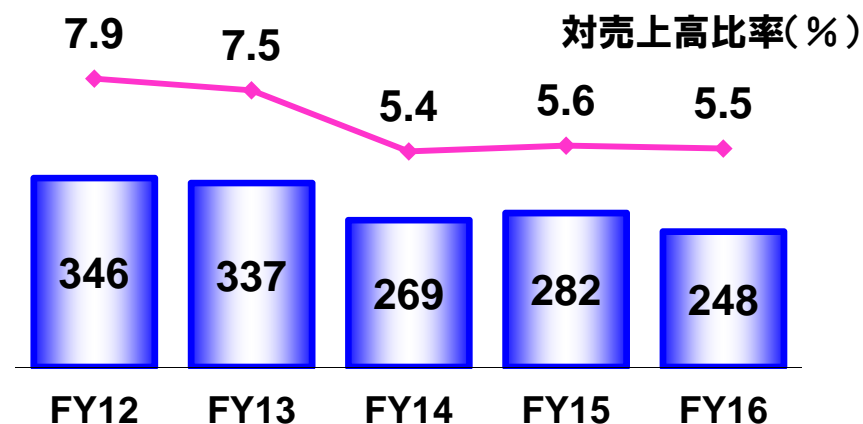
2016年3月期：棚卸資産、研究開発費、設備投資、減価償却費

(単位：億円)

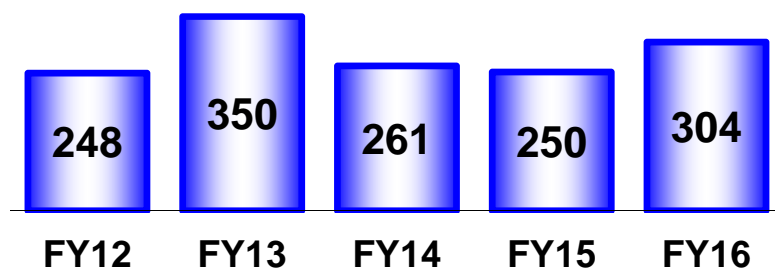
棚卸資産



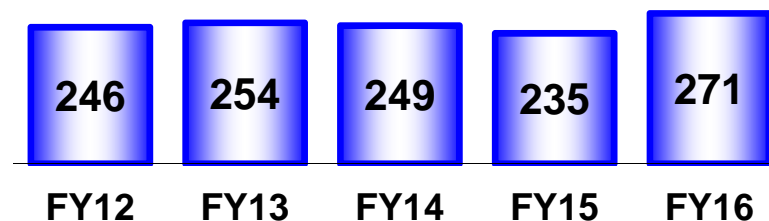
研究開発費



設備投資



減価償却費



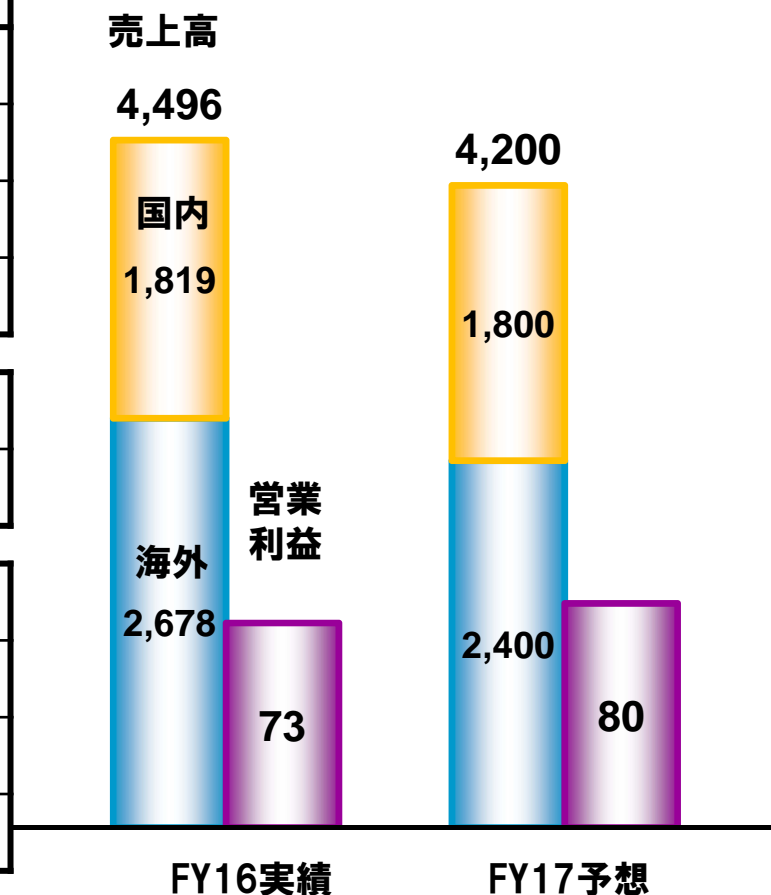
2. 2017年3月期 連結業績予想

2017年3月期：連結業績予想

(単位:億円)

	FY17予想	FY16実績	前期比
売上高	4,200	4,496	93.4%
営業利益	80	73	109.5%
経常利益	70	73	96.6%
当期純利益*	10	7	136.8%

(単位:億円)



為替 前提レート	1USDドル	115円	120.14円	-4.3%
	1ユーロ	125円	132.58円	-5.7%

1株当たり純利益*	2.72円	1.99円	+0.73円
ROE	1.2%	0.8%	+0.4%
1株当たり純資産	236.04円	233.32円	+2.72円
ROA	0.3%	0.2%	+0.1%

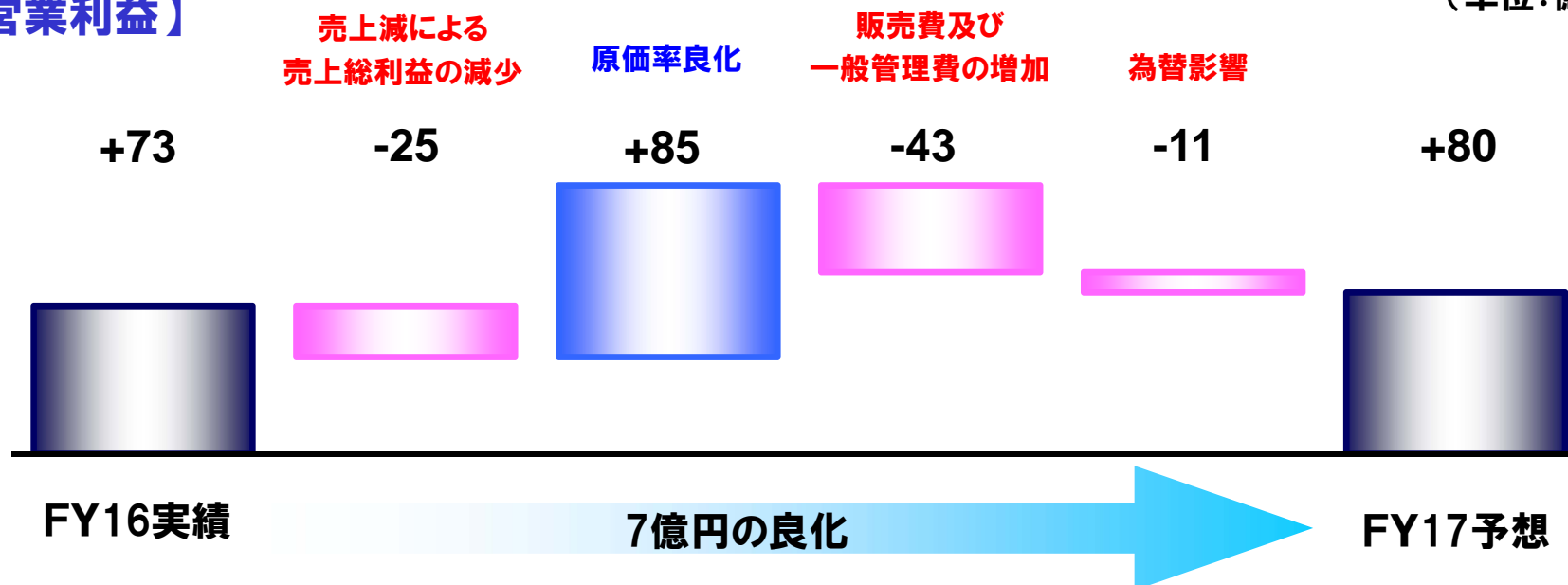
* 親会社株主に帰属する当期純利益

注) 1円の円高インパクトは、売上高では、USDドルは▲約19.2億円、ユーロは▲約2.1億円、
営業利益では、USDドルは+約1.1億円、ユーロは▲約1.5億円。

2017年3月期予想： 営業利益増減要因

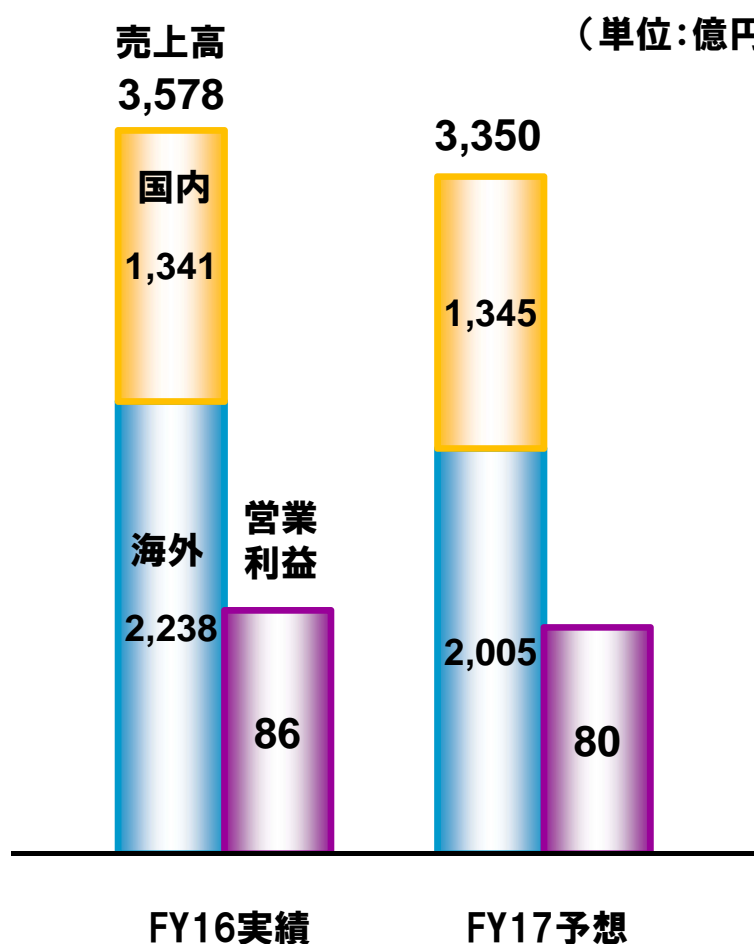
【営業利益】

(単位：億円)



- カーOEM、光ディスクドライブなどの売上減により売上総利益は減少
- カーエレクトロニクスを中心としたコストダウン効果や、カーOEMの売上減による事業ミックスにより原価率は良化
- 人件費増や、メキシコ新工場の立ち上げ費用などにより販売費及び一般管理費は増加

2017年3月期予想：カーエレクトロニクス



< 売上高 > OEM比率 57% (前期 60%)

前期比	94% (国内 100%、海外 90%)
増収要因	市販カーナビゲーションシステム、地図ソフト
減収要因	OEMカーナビゲーションシステム OEMカーオーディオ 市販カーオーディオ

< 営業利益 >

前期比	6億円の悪化
良化要因	原価率良化(+47億円)
悪化要因	販売費及び一般管理費の増加(-20億円) 売上減に伴う売上総利益の減少(-19億円) 為替影響(-13億円)

< 出荷台数 > (単位:千台)

	FY16実績	FY17予想
市販カーナビ	691	710
市販カーCD	5,784	5,670
市販カーAV	1,432	1,540

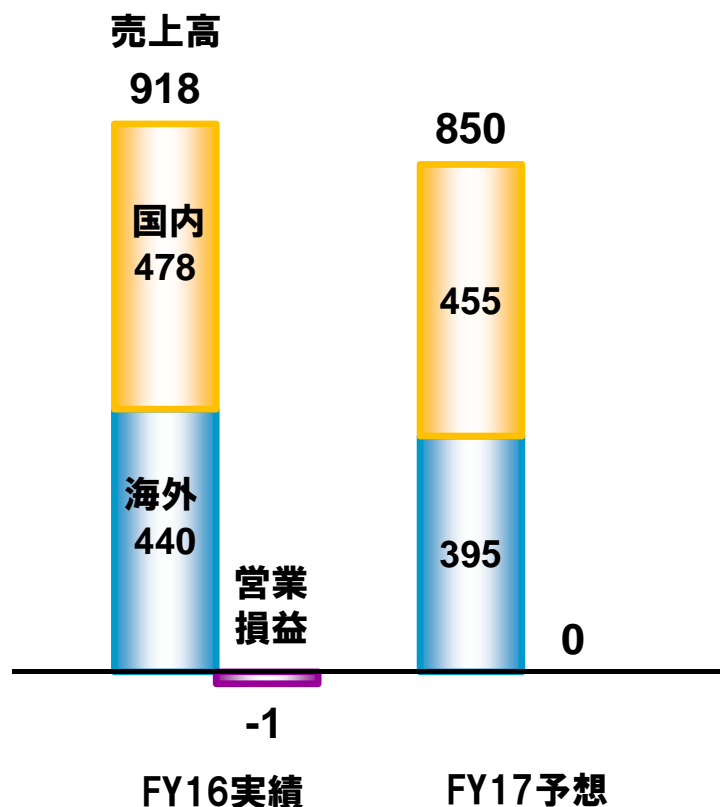
注) 1. セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。

2. 従来「その他」に含まれていた地図ソフトを、FY17から「カーエレクトロニクス」に変更します。これに伴い、FY16の金額についても組替表示しています。

※ 当セグメントに含まれる主要製品：
カーナビゲーションシステム、カーステレオ、カーAVシステム、
カースピーカー、地図ソフト

2017年3月期予想：その他

(単位:億円) < 売上高 >



前期比	93% (国内 95%、海外 90%)
増収要因	FA機器
減収要因	光ディスクドライブ ホームAV(生産受託終了)

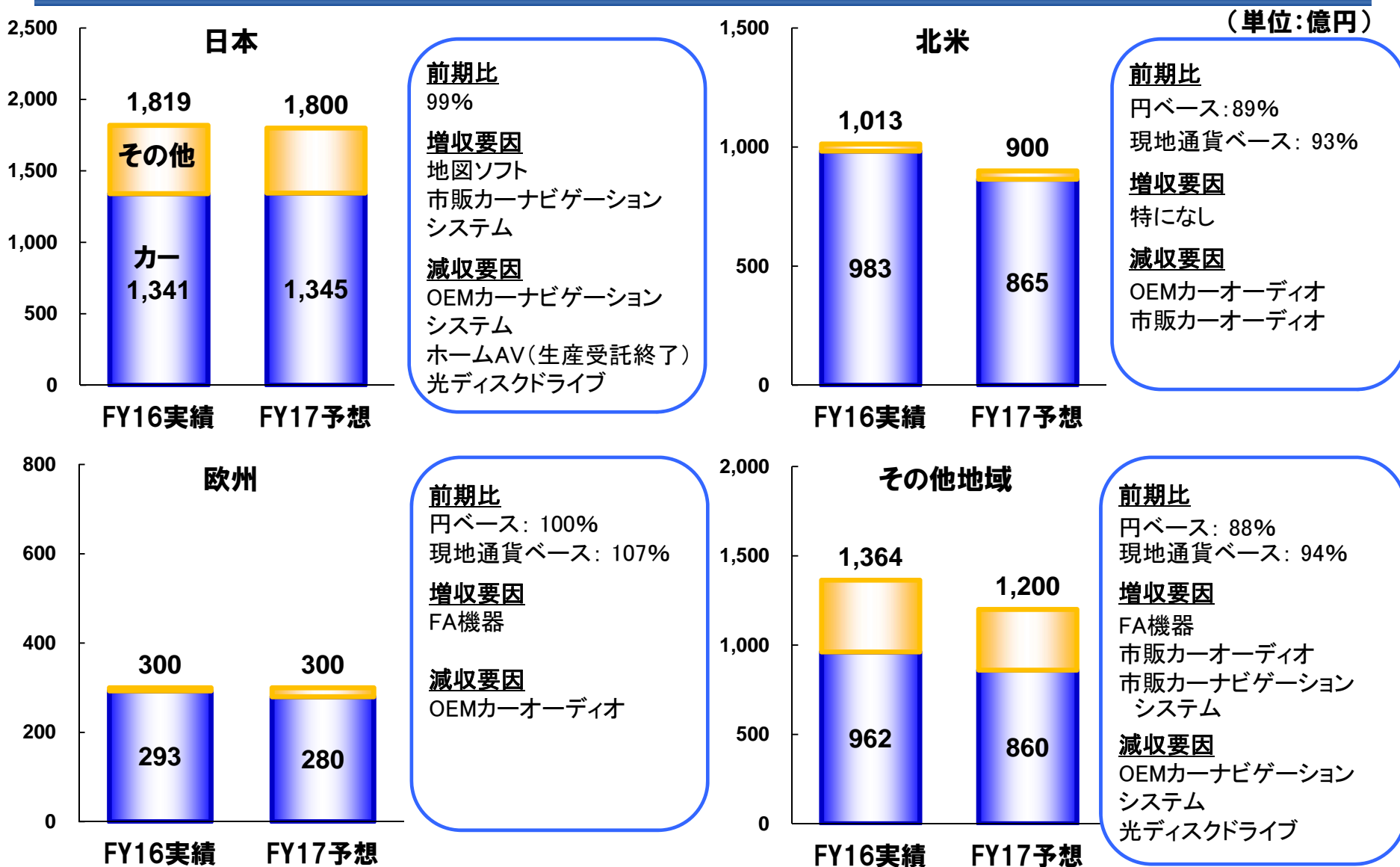
< 営業損益 >

前期比	1億円の良化
良化要因	原価率の良化(+28億円) 為替影響(+3億円)
悪化要因	販売費及び一般管理費の増加(-23億円) 売上減に伴う売上総利益の減少(-6億円)

※ 当セグメントに含まれる主要製品：
ブルーレイディスクドライブ、DVDドライブ、CATV関連機器、
FA機器、電子部品、スピーカーユニット、
有機ELディスプレイ、EMS(電子機器受託製造サービス)
DJ機器(生産・販売受託)、ホームAV(販売受託)

- 注) 1. セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。
2. 従来「その他」に含まれていた地図ソフトを、FY17から「カーエレクトロニクス」に変更します。これに伴い、FY16の金額についても組替表示しています。

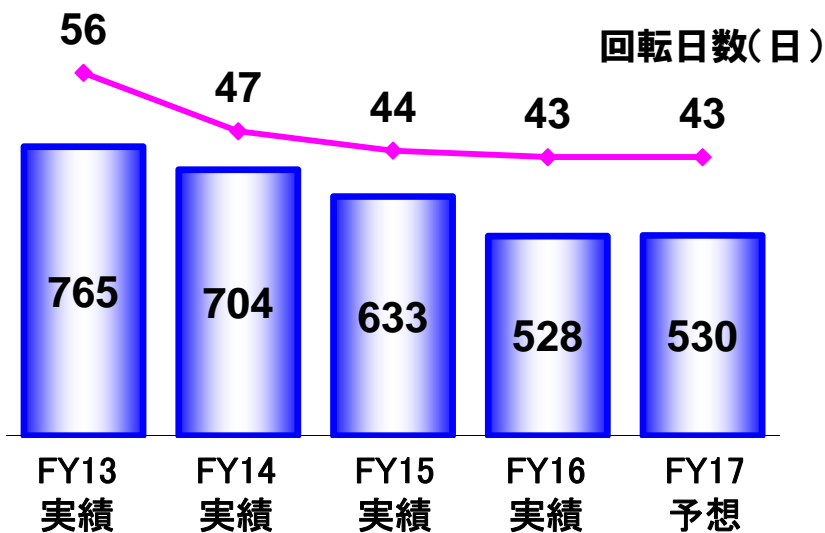
2017年3月期予想： 地域別売上高



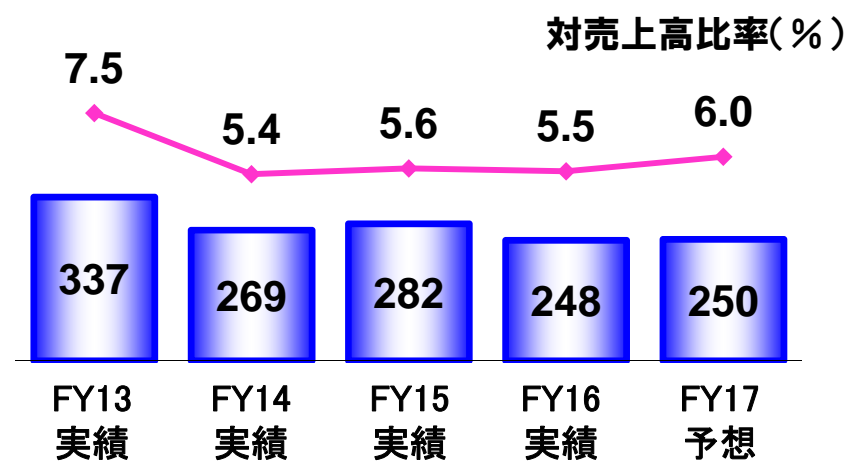
2017年3月期予想：棚卸資産、研究開発費、設備投資、減価償却費

(単位：億円)

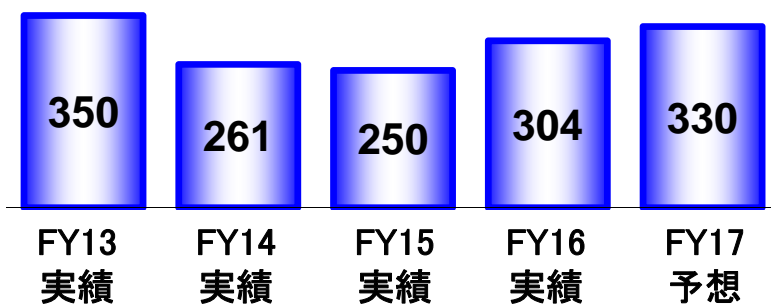
棚卸資産



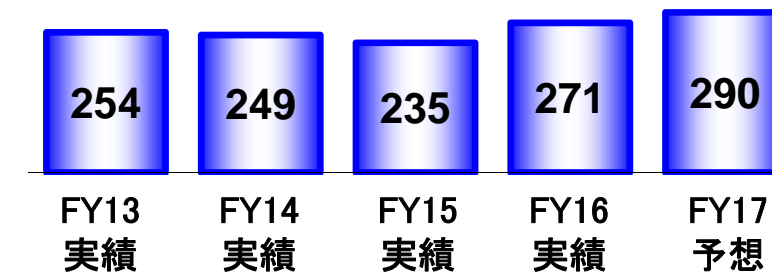
研究開発費



設備投資



減価償却費



2017年3月期予想： キャッシュ・フローおよび財務指標

(単位：億円)

	FY15実績	FY16実績	FY17予想
営業キャッシュ・フロー	346	193	250
投資キャッシュ・フロー	369	-201	-330
財務キャッシュ・フロー	-554	34	-40
フリー・キャッシュ・フロー	714	-8	-80
純資産	1,071	905	910
自己資本比率	31%	29%	29%
借入金	342	373	350
D/E比率	0.3倍	0.4倍	0.4倍
現金及び預金	522	520	400

- 注) 1. 「投資キャッシュ・フロー」、「現金及び預金」には、3ヵ月超の定期預金を含んでいます。
 2. D/E比率＝有利子負債÷(純資産－非支配株主持分)
 3. FY16実績およびFY17予想の「財務キャッシュ・フロー」、「借入金」、「現金及び預金」には、2015年12月に実施した
 転換社債型新株予約権付社債を反映させています。

Pioneer